

防災情報

防災士フォローアップ研修

市主催の防災士養成講座による防災士資格取得者などに対し、災害時に役立つ情報を知り地域の活動に活かしていただくため、「令和8年度 防災士フォローアップ研修」を6月20日(土)に市役所で開催しました。

今回の研修では、マンホールトイレおよび新たに配備された非常用トイレの組立を行いました。

また、市役所玄関前にて令和6年能登半島地震において珠洲市で活躍した本市の災害用トイレトレーラーの展示も行いました。

防災士は地域の防災活動や避難所運営など地域防災には欠かせない存在であることから、毎年研修を行い、地域防災力向上を図っています。

問合先 地域防災課



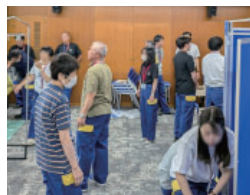
地域防災支援員研修

市職員の避難所担当が、避難所運営の知識や資機材の取扱いなどを身に付ける研修として、「令和8年度 地域防災支援員研修」を7月6日(月)・10日(金)に市役所およびエブノ泉の森駐車場で開催しました。

研修では、無線機の操作や非常用トイレの組立を行い、実際にマンホールを開けてマンホールトイレの構造の理解を深める機会も設けました。

地域防災支援員としての知識を習得することで災害時にスムーズで円滑な避難所運営に努めてまいります。

問合先 地域防災課



消防指令センター

大規模災害時に一人でも多くの命を救うために

消防指令センターでは、大地震や風水害などの大規模災害時に多くの119番通報を受けたとき、限られた数の消防車や救急車を、緊急度の高い災害場所や重症の傷病者のもとへ優先して出動させるため、非常時コールトリアージを運用しています。

非常時コールトリアージとは：
通常の消防力では対応できない災害が発生した場合に限り、オペレーターが、災害や傷病者の緊急度を通報段階で判定し、出動の可否・優先順位を決定するものです。

次の要件に該当する大規模災害時などにのみ実施するもので、平常時は行いません。非常時コールトリアージの運用中は、通常の出動体制と異なるので、ご理解をお願いします。



非常時コールトリアージの実施要件

- 大地震や台風、集中豪雨などにより泉州地域に広域災害が発生し、消防対応能力を超える多数の119番通報を受信する場合
- 消防対応能力を超え、大阪府下または他府県の消防応援隊が到着するまでに相当な時間を要すると判断した場合
- 庁舎・消防車両・勤務員が多数被災し、消防活動などを正常に行えない場合

～お願い～

119番は、命をつなぐ大切な回線です。火災・救急・救助・災害要請以外の問い合わせはご遠慮ください。

●災害案内：☎050・5846・3468 (自動音声)

●病院照会：☎469・0119 (音声ガイダンス) ①病院照会・指令センター

【他機関の問合先】

●病院に行くべきか？救急車を呼ぶべきか？：救急安心センター (#7119 または ☎06・6582・7119)

●現在診療中の医療機関問合せ：大阪府救急医療情報センター (☎06・6693・1199)

●停電時：関西電力送配電コールセンター (☎0800・0777・3081)

●ガス停止など：大阪ガス導管ダイヤル (☎0120・544・209)

問合先 泉州南広域消防本部
指令課 (☎460・0119)